

マルチスキームによる水道事業体の構築・強化 ーケニア国メルー市給水計画ー

コンサルタント海外事業本部 都市環境部 山本象平 他

○キーワード

技術協力スキーム、無償資金協力、独立採算事業体、上下水道事業、無収水、能力開発

○概要

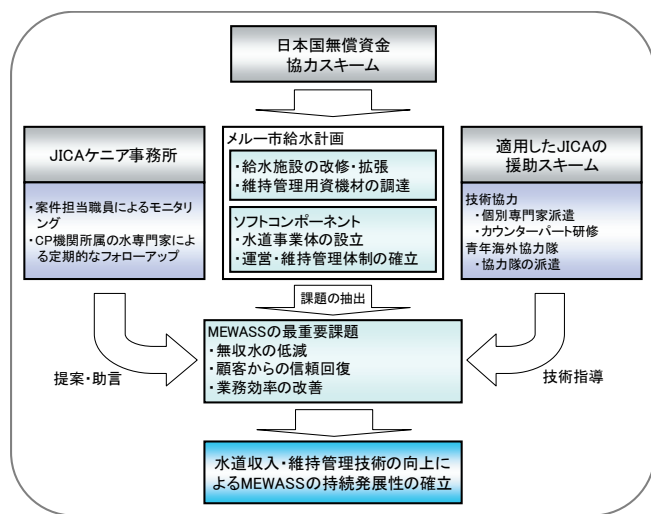
メルー市給水事業は無償資金協力事業として2000年から2003年に掛けて実施された。同事業の目的は、既存施設の改修および独立事業体であるMEWASS職員の能力強化を通して、同市の給水状況の改善を図ることである。無償資金協力事業の完了後において、更なるMEWASS職員の能力開発が必要と判断されたことから、国際協力機構が実施している援助スキーム（技術協力、青年海外協力隊の派遣）に基づき能力強化を継続して行ってきた。本報告はこれらの事業実施および技術協力による支援の結果および考察を述べるものである。

○技術ポイント

援助国側事業体職員の能力開発に係り、日本国無償資金協力および援助機関である国際協力機構の援助スキームの適用により、従来の無償資金協力事業に比べて息の長い相手国側職員の能力強化を効率的に実施することが出来る。

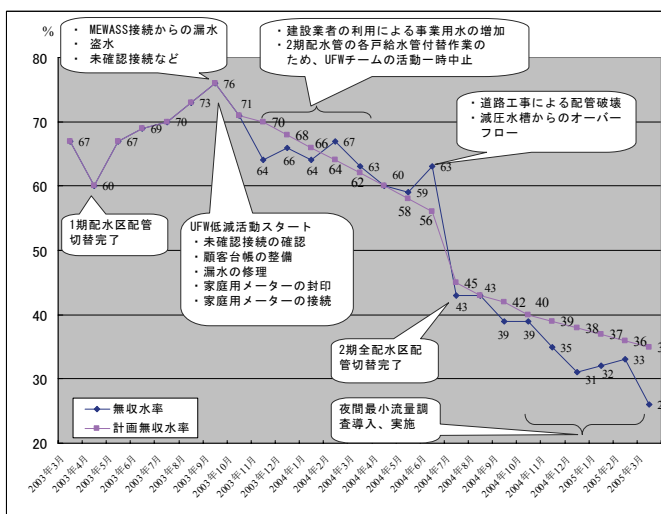
これらの援助スキームを有効に適用するためには、事業計画段階から各支援機関との連携が必要である。

○図・表・写真等



適用した援助スキームの相関関係

無償資金協力スキームと JICA の各種援助スキームを連結し、継続的にコントロールする MEWASS の事業確立計画を立案した。



無収水率の推移

能力強化の指標の一つである無収水率は事業実施中の70%から26%まで低減し、現在においても20%台を確保している。